

ごあいさつ

会長 小倉一夫

地域の皆様には、日頃から三方原地区社協の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

三方原地区社協が発足して10年目に当る平成25年度も、間もなく年度末を迎えようとしております。今年度は、4月に開催いたしました定期総会の時点では予定していなかった「第36回浜松市社会福祉大会における記念講演」を行なうという、大きな取り組みが新たに加わりました。

「みんなで つながりづくり “まち”づくり」

～ チャレンジする町 三方原の10年 ～

この「記念講演」では上記のテーマで当地区社協の活動事例の発表を行ないました。この発表の準備のために、当地区社協の沿革を振り返る中で、“いかに多くの方々と関わり、お世話になりながら今までやってきたものか”ということを感じました。このテーマを実現するために、これからも地域の皆様とともに地区社協の活動を進めてまいりたいと思います。

「知っていただき、参加していただき、利用していただける」

…ことのできるような三方原地区社協を目指して新年度を迎えたいと思います。



企画運営部会の活動

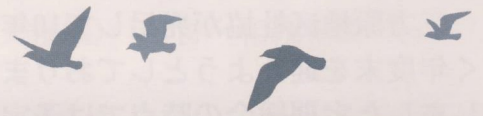
企画運営部会長 加茂哲夫

- ◆ 1. 三方原地区社会福祉協議会総会を4月20日午後1時30分より開催、125名の出席のもと多数の審議事項を可決しました。
記念講演として、浜松市社会福祉協議会地域支援課長 中谷 高久様を講師に迎え、「生活支援と地区社協の在り方」と題し講演をしていただきました。
- ◆ 2. 地区社協福祉講演会を7月20日に開催、聖隷福祉事業団本部経営企画室 課長 山本 誠 様を迎え、「三方原に風が吹く ～福祉の主役は私です。あなたです～」と題し講演していただきました。
- ◆ 3. 8月には、自立体力テストとトレーニング講習会を開催しました。
- ◆ 4. 12月7・8日に開催された三方原協働センターまつりに参加。おでん・わたがしの販売、地区社協ブースでは、「わなげ・けんだま」等の体験をしてもらいました。
- ◆ 5. 12月9日には、浜松市社会福祉大会において三方原地区社協として10年の節目の年となり、「みんなで つながりづくり まちづくり ～チャレンジする町 三方原の10年～」と題して講演を行いました。



高齢者福祉部会では、一人暮らしや老人クラブ・踊りサークル等に入っていない方を招待して、初生校区・三方原校区・豊岡校区の各小学校区に分かれ、年2回ずつ北星中・初生公会堂・協働センター・百園会館などをお借りして、高齢者ふれあい交流会を開催しました。

健康体操・歌唱・ゲーム・大道芸の観賞・バルーンの作成・唱歌カルタなどを行い、最後は、毎回手作りの味噌汁とお弁当で楽しい昼食をとりながら交流会を終えました。



《初生小校区》



《三方原小校区》



《豊岡小校区》



(1) 託児支援の活動

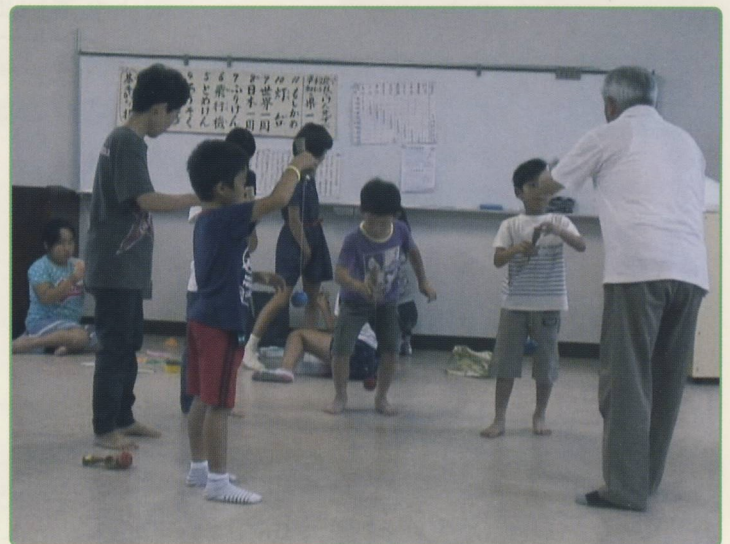
管内の小学校(三方原、豊岡、初生の三校)で行なわれる授業参観会、PTA総会、学習発表会等の際 幼児、授業の無い低学年児等を預かります。

(2) “昔の遊び子ども広場”の活動

・初生公会堂を会場とし、毎月2回(第1、第3土曜日の午前9時30分～11時30分)実施しています。けん玉を中心としてお手玉、折り紙、おはじき、竹返しなどで遊びます。

(3) 初生なかよし会の活動

・初生小学校敷地内にある児童館を午前中利用して実施しています。
活動内容は、紙芝居エプロンシアター、ベビーマッサージ、読み聞かせ、誕生会、英語の歌と踊り、クリスマス会、豆まき、ひな祭り等々。



三方原協働センターで、ボランティアコーナーを利用し、月に2回、土曜日の午後に「ふれあい相談室」を開催しています。

地域の皆様と一緒に、問題解決に向けて考えていければと思っています。

開催日はチラシ等をご参照下さい。

ふれあい相談室の相談員は民生・児童委員、人権擁護委員、地域包括支援センター職員、なないろの会会員、NPO法人ガイドネット役員、遺言・相続サポートセンター会員が担当しています。

相談は、「福祉や介護の相談」「暮らしの心配事(よろず編、子育て編、人権編)」「遺言・相続相談」という分野での相談となっています。



「ふれあい相談室」
「福祉・介護相談」です。

本日は
「ボランティアコーナー」
「ふれあい相談室」

開催中



広報部会の活動

広報誌の発行

広報部会長 川上 征夫

「三方原地区社協だより」年2回の発行を目指して、各部会の活動状況を記録しました。この社協だよりに掲載する写真等の編集に手間がかかり、やっと年度内の発行に間に合わせる事が出来ました。浜松市社会福祉大会発表のための資料作りと、当日の録画撮りなどを行いました。

編集後記

広報部会長を初めて担当し、慣れないことに戸惑い、地区社協だよりを発行することが難しいと感じながら、やっと目標の2回発行にこぎつけた次第です。

今年の経験をこれからの広報活動に生かして、皆さんに親しんでいただける誌面作りをしていきたいと思っています。

